

世界銀行東京事務所、世界銀行東京防災ハブ共催 第13回防災セミナー

## 将来起こり得る災害への備え： アルメニア、キルギス、タジキスタンにおける防災



ヨーロッパ・中央アジア地域の国々は、様々な自然災害の脅威にさらされています。過去30年間に発生した災害による被害は、洪水と地震だけでも、5万人の命を奪い、2,500万人が被災し、800億ドルに上る損害をもたらしています。アルメニア共和国、キルギス共和国、タジキスタン共和国が抱える災害の特性や脆弱性はそれぞれ異なるものの、3カ国は高い地震リスクという共通の課題を抱えています。

2015年10月に世界銀行が開催した中央アジア地震リスク軽減フォーラムでは、中央アジアの政策決定者などが他国の経験を学ぶとともに、将来の地震リスクへの備えを高める上でのニーズや課題について議論しました。これを踏まえ、世界銀行は、アルメニア共和国、キルギス共和国、タジキスタン共和国の3カ国において、繰り返し発生する自然災害へ備えるため多方面での支援を行っています。日本-世界銀行防災共同プログラムは、地震リスク評価、危機管理センターの設立、防災関連組織の能力強化など、一連の強靱性向上のための活動を支援しています。

このたび、当該3カ国の政府代表団の来日にあたり、本セミナーでは各国代表者が日本での視察を通して得た知見と、それらを自国で活用するための方向性をご紹介します。

❖ 日時	2016年9月7日(水) 午後4時30分から6時
❖ 場所	世界銀行東京事務所 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル10階
❖ プログラム	
開会挨拶	
塚越 保祐	世界銀行グループ 駐日特別代表
プレゼンテーション	
竹内 航	世界銀行 社会・都市・農村開発・強靱性グローバルプラクティス ヨーロッパ・中央アジア地域担当 防災専門官
ホヴァネス・カンジェルディアン	アルメニア共和国 非常事態省 救助・危機管理センター 所長
サリムゾダ・マセドソン	タジキスタン共和国 緊急事態委員会 副事務局長
アズマト・マムベトブ	キルギス共和国 非常事態省 危機管理センター 副所長
ディスカッサント	
佐谷 説子	内閣府政策統括官(防災担当) 付 参事官(普及啓発・連携担当)
モデレーター	
金田 恵子	世界銀行 防災グローバル・ファシリティ 東京防災ハブ 防災専門官
❖ 言語	ロシア語・日本語(同時通訳付)
❖ お申し込み	世界銀行ウェブサイトのイベントページからお申し込みください。参加費無料。
❖ お問い合わせ	世界銀行東京防災ハブ Email: <a href="mailto:drmhubtokyo@worldbank.org">drmhubtokyo@worldbank.org</a> TEL: 03-3597-1320

このセミナーは公開用に録画されます。